

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	乳児保育Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	乳児保育Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	2	30
使用教材	はじめて学ぶ 乳児保育			出版社	近畿大学九州短期大学

科目の基礎情報②

授業のねらい	保育技術乳児の発達を理解し、それに伴う保育技術を身に付ける。乳児保育の必要性を知る				
到達目標	乳児保育の保育の技術を身に付ける				
評価基準	提出物・実習グッズ作品：60% 授業態度：40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある ・成績評価が2以上				
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許				
関連科目	保育原理/子どもの食と栄養				
備考	原則、この科目は対面形式にて実施する				
担当教員	黒木 知恵美			実務経験	○
実務内容	福岡市内の保育園で10年勤務経験あり。大野城市子育て支援サポーター3年。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	乳児保育はなぜ必要か	テキストP2～5
2	乳児保育の成り立ちを知る	テキストP6～11
3	保育園で過ごす1日の流れ	テキストP9 6～10 4
4	子ども子育て支援制度	テキストP12～27
5	子ども子育て支援制度	テキストP12～27
6	知っておきたい法律のいろいろ	テキストP28～37
7	保育所保育指針における乳児保育	テキストP43～63
8	保育所保育指針における乳児保育	テキストP43～63 小テスト
9	人生の基礎としての乳児保育	テキストP64～67

10	乳児の心の発達	テキストP68～73
11	乳児の言葉の発達	テキストPP74～79
12	人と関わる楽しさを伝えるおもちゃ	テキストP80～81
13	乳児の体	テキストP82～89
14	乳児の体・テスト	テキストP82～89・前期復習テスト実施
15	まとめ	総まとめ
16	乳児の睡眠について	テキストP90～91
17	乳児保育担当の保育者にお話を聞きました	テキストP108～107
18	保護者との連携を考える	テキストP108～117
19	保護者との連携を考える	テキストP108～117
20	発達の遅れと向き合う	テキストP118～119
21	産休明けのままの子育て日記	テキストP122～127
22	離乳食の基礎知識	テキストP148～153
23	保育環境の衛生管理	テキストP158～173
24	かみつき、ひっかきの対応	テキストP160～161 小テスト
25	乳児保育における安全管理	テキストP162～173
26	乳児保育における安全管理	テキストP162～173
27	連絡帳の書き方	テキストP174～177
28	おすすめの絵本と関連グッズ	テキスト194～199
29	まとめ	振り返り①
30	まとめ	振り返り②

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	英会話Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	英会話Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	2	30
使用教材	Happy English for Childcare 保育のための基礎英語		出版社	金星堂	

科目の基礎情報②

授業のねらい	保育現場での英会話を通したやりとりを身につける。		
到達目標	英語を使って保護者への連絡や子どもの状況説明ができる。 外国籍の子どもが在籍するクラス担任としてクラス運営ができる。		
評価基準	テスト/発表：60% 授業態度：20% 提出物：20%		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	保育士・幼稚園教諭二種免許状		
関連科目	なし		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	森下 令子	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期オリエンテーション Pre-unit	授業のねらい、到達目標、英語でコミュニケーションをするときの基本表現
2	Unit 1	・挨拶・自己紹介 ・人に何かを頼む表現
3		・保育時間 ・英語での自己紹介
4	Unit 2	・園内の案内 ・位置を伝える表現
5		・園の構成員 ・戸外での道案内

6	Unit3	・登園時の会話 ・今日の調子を聞く・答える表現
7		・持ち物、数字 ・手遊び歌“Ten Little Pumpkins”
8	Unit4	・工作時間の会話 ・好きなもの・嫌いなものを聞くwhatの表現、工作やお絵かきで使う道具
9	Unit4 Unit5	・英語で「かぐや姫」を読む ・園外散歩での会話
10	Unit5	・場所を表す表現、集団で行う園活動 ・教室内のものの場所を示す
11	Unit6	・園庭での会話 ・「人に何かするよう」「しないよう」に言う表現
12		・遊具の名前 ・英語で「桃太郎」を読む
13	Unit7	・保護者からの相談、食に関する好き嫌い ・アレルギーの有無を伝える表現、手洗いや歯磨き
14		・食材の名前 ・肉じゃがのレシピを英語で書く
15	前期まとめ	前期まとめ
16	Unit8	・お昼寝時間の会話 ・「しなければならないこと」「必要があること」を伝える表現
17		・お昼寝に関する表現、英語圏のジェスチャー ・手遊び歌“Twinkle, Twinkle, Little Star”
18	Unit9	・降園時の会話 ・1日の活動と様子を伝える表現(動詞の過去形)
19	Unit9 Unit10	・クリスマスについて調べる ・園行事予定についての会話
20	Unit10	・「もし〜なら」という仮定の表現 ・園行事の英語名、体操の名称
21	Unit11	・ネイティブとの打ち合わせ ・Shall I/we…?とWill you…?を用いた表現と応答
22		・時刻を表す英語 ・歌“Old MacDonald Had a Farm”
23	Unit12	・体調不良の園児との会話 ・病気やけがの症状を伝える表現
24		・医療品の英語 ・身体の部位・家系図
25	Unit13	・保護者との電話 ・電話応対に便利な表現
26		・留守番電話の英語 ・英語で「浦島太郎」を読む

27	Unit14	・最後の日の会話 ・お礼の表現
28		・動きの表現 ・誕生日カード
29		・英語で誕生日カードを作成して発表
30	後期まとめ	後期まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	健康科学		
必修選択	選択	(学則表記)	健康科学		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	スポーツ保育科	2	30
使用教材	生涯スポーツ・健康科学			出版社	近畿大学九州短期大学

科目の基礎情報②

授業のねらい	健康維持や体力向上に対するスポーツ活動の持つ教育的意義を学ぶ				
到達目標	上記授業概要の説明並びに「生涯スポーツ」「Sports for all」の理念を推進していく上での条件整備のあり方について考えることができる				
評価基準	テスト/レポート：60% 授業態度：20% 提出物：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	保育士・幼稚園教諭二種免許状				
関連科目	運動あそび				
備考	原則、この科目は対面形式にて実施する				
担当教員	大西 真果			実務経験	○
実務内容	スポーツ施設における指導、保育園での子育て支援指導、健康教室でのシニア世代へのリズム体操を指導。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	オリエンテーション
2	スポーツの意義	スポーツのあり方について
3	スポーツの意義	学生生活とスポーツ
4	スポーツの意義	生涯スポーツ
5	スポーツの課題	商業主義とスポーツ
6	スポーツの課題	勝利至上主義とスポーツ
7	スポーツの課題	スポーツに関わる今日的課題
8	現代社会の特徴	健康の捉え方
9	現代社会の特徴	スポーツ実践と健康との関わり

10	レポートについて	レポートとは
11	レポートについて	レポート作成に必要な準備
12	資料収集・レポート作成	資料，文献の熟読
13	資料収集・レポート作成	内容構成の検討
14	資料収集・レポート作成	レポートの完成に向けて
15	まとめ	まとめ
16	オリエンテーション	オリエンテーション
17	スポーツの概念	スポーツの概念
18	社会生活の変化とスポーツ	余暇社会とスポーツ
19	社会生活の変化とスポーツ	地域社会とスポーツ
20	スポーツ参加の現状と課題	国民のレジャー活動とスポーツ
21	スポーツ参加の現状と課題	国民スポーツの諸相
22	スポーツ参加の現状と課題	国民スポーツ発展のために
23	健康の概念	健康の概念
24	健康の概念	WHOの「健康」定義
25	健康・体力と運動	運動不足の実態
26	健康・体力と運動	身体運動と健康
27	健康・体力と運動	体力の概念
28	生活におけるトレーニング	運動処方
29	生活におけるトレーニング	トレーニングの科学的基礎
30	まとめ	まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	情報処理入門Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	情報処理入門Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	2	60
使用教材	情報処理入門		出版社	近畿大学九州短期大学	

科目の基礎情報②

授業のねらい	P C 活用のための基礎知識と技術、および情報リテラシー（情報活用能力）を身に付ける。		
到達目標	基本となるスキル<タッチタイピング>と、アプリケーションソフト< Word、Excel、PowerPoint、他 >の基本操作と活用方法について演習を通して習得する。 情報機器およびインターネットを活用するうえでの情報リテラシー（情報活用能力）を習得する。		
評価基準	テスト/レポート：60% 授業態度：20% 提出物：20%		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	パソコン技能検定3級／保育士・幼稚園教諭二種免許状		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面形式にて実施する		
担当教員	久米 優子	実務経験	○
実務内容	民間企業にて入力操作研修(OS、Word、Excel、Access)を担当。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	Windows10 (OS) の基礎／PC基本操作 情報処理の基礎 1.1.
2	タッチタイピング	練習時の留意点 情報処理の基礎 1.2.
3	Word、文書作成ソフト、PC操作の基礎	文字入力理解と習得 情報処理の基礎 1.2
4		かな漢字変換・記号入力理解と習得 情報処理の基礎 1.2.
5	Word、文書作成ソフト、基本	ビジネス文書の作成（基本構成要素の理解） 情報処理の基礎 1.2.
6		ビジネス文書の作成（編集機能の理解）
7		ビジネス文書の作成（編集機能の習得） 情報セキュリティについて考える
8		ビジネス文書の作成（まとめ） 知的財産権に対する知識と意識

9	図形処理	図形処理（図形・テキストボックスの挿入・ワードアート・画像の挿入等）
10	まとめ	前期：学習内容復習
11	PowerPoint、プレゼンテーションソフト、基礎	PowerPoint（プレゼンテーションソフト）基礎①
12		PowerPoint（プレゼンテーションソフト）基礎②
13		PowerPoint（プレゼンテーションソフト）基礎③
14		PowerPoint（プレゼンテーションソフト）基礎④
15	総括	総括：レポート作成（近畿大学九州短期大学通信教育部）
16	インターネット演習、描画・画像の取り扱い	インターネット演習① E-mail・添付ファイル
17		インターネット演習② プログラミングソフト体験
18		描画・画像ソフト体験
19	Excel、表計算ソフト	Excel（表計算ソフト）基礎
20		Excel（表計算ソフト）基本
21		Excel（表計算ソフト）関数活用①
22		Excel（表計算ソフト）関数活用②
23	まとめ	後期：学習内容復習
24	PowerPoint、プレゼンテーションソフト、応用	PowerPoint（プレゼンテーションソフト）応用①
25		PowerPoint（プレゼンテーションソフト）応用②
26		PowerPoint（プレゼンテーションソフト）応用③
27	総合演習	総合演習①
28		総合演習②
29		総合演習③
30		総合演習④

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	日本国憲法		
必修選択	選択	(学則表記)	日本国憲法		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	2	30
使用教材	近大配布テキスト『日本国憲法』			出版社	近畿大学九州短期大学通信教育部
科目の基礎情報②					
授業のねらい	国家の根本法である憲法について、その意義と基本原則を理解する。また、憲法に定められている具体的な権利について学び、現実社会の憲法に関する問題を知る。				
到達目標	一、憲法の意義と基本原理を説明できるようになる。 二、憲法の保障する人権の内容を知り、現実の社会問題を憲法の観点から理解し、自己の見解を説明することができるようになる。				
評価基準	テスト/レポート60％・授業態度20％・提出物20％				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上の者 成績評価が2以上の者				
関連資格	保育士・幼稚園教諭二種免許				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面形式にて実施する				
担当教員	森 敦嗣			実務経験	
実務内容					
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	オリエンテーション		授業の流れ、到達目標を説明する		
2	憲法とは何か①		近代憲法の原則と憲法の特質について学習する		
3	憲法とは何か②		現代憲法への展開について学習する		
4	日本国憲法の基本原理①		日本国憲法の制定について学習する		
5	日本国憲法の基本原理②		日本国憲法の構成と基本原理について学習する		
6	国民主権と天皇		国民主権の原理と天皇の地位について学習する		
7	前期復習①		重要なポイントを復習し、理解を深める		
8	平和主義		憲法第9条を中心とし、平和主義の内容について学習する		
9	個人の尊厳と基本的人権		人権の歴史的展開と基本的人権の保障について学習する		

10	基本的人権の限界	「公共の福祉」原理について学習する
11	包括的基本権①	個人の尊重、幸福追求権と新しい人権について学習する
12	包括的基本権②	法の下での平等について学習する
13	前期復習②	重要なポイントを復習し、理解を深める
14	テスト	テストを実施する
15	前期まとめ	テストの振り返りと前期の総まとめを行う
16	精神的自由権①	思想・良心の自由と信教の自由について学習する
17	精神的自由権②	表現の自由と学問の自由について学習する
18	社会権	教育を受ける権利を中心に、社会権について学習する
19	人身の自由と刑事手続の保障	刑事手続において、保障される権利について学習する
20	経済的自由権と受益権	経済的自由権と受益権について学習する
21	参政権と国民の義務	選挙権を中心とする参政権と日本国憲法に定める国民の義務について学習する
22	後期復習①	重要なポイントを復習し、理解を深める
23	政治機構の原理	立法、行政、司法による抑制と均衡の原理について学習する
24	国会と内閣	国会と内閣の構成、及び国会と内閣の関係について学習する
25	裁判所	司法権の内容と違憲審査制について学習する
26	地方自治	地方自治の内容と役割について学習する
27	憲法の改正	憲法の保障制度とその改正手続について学習する
28	後期復習②	重要なポイントを復習し、理解を深める
29	テスト	テストを実施する
30	後期まとめ	テストの振り返りと後期の総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	保育・教職実践演習		
必修選択	選択	(学則表記)	保育・教職実践演習		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	2	60
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	教育職・保育職の専門性について理解を深め知識を身につける				
到達目標	① 幼稚園教諭、保育士としての専門性について実践できる ② 保育者として求められる使命感、責任感、社会性、対人関係能力、学級経営についての自己評価し、今後の自己課題を設定することができる ③ 教材作成、指導案作成を含めた模擬保育を行う中で、保育内容についての実践的な指導ができる				
評価基準	発表：３０％ 修得確認：４０％ 授業態度：３０％				
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者				
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許				
関連科目	保育実習Ⅰ(保育所) / 保育実習ⅡⅢ(選択) / 教育実習				
備考	原則、この科目は対面形式にて実施する				
担当教員	羽生 千穂			実務経験	○
実務内容	マリア幼稚園にて約２４年間幼稚園教諭として勤務経験あり。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	授業の内容説明・目的	保育実践演習の教科の意味、内容、目的を理解する。
2	幼稚園教諭とは、教職とは	【保育職の意義と役割】【保育者の役割と課題】【保育者としての課題】について学ぶ。
3	現代の子どもの特徴と課題	(1)少子化と子どもの育ち(2)保護者のニーズの多様化 子どもの遊びの変化と課題
4	子どもの見方・捉え方	子どもという存在の捉え方について 子どもにどのように働きかけたらよいか
5	幼児教育者に求められているもの	保育士課程から見た幼児教育者 履修カルテについて
6	幼児教育者に求められているもの	履修カルテについて(履修カルテの作成) 履修カルテ提出
7	実習の振り返り	評価から深める学び 学生同士による経験の共有
8	保育実践①	「幼児文化教材の理論と実践」 教材作製の計画(計画表提出)

9	保育実践②	「幼児文化教材の理論と実践」 教材作製
10	保育実践③	「幼児文化教材の理論と実践」 教材作製
11	保育実践④	「幼児文化教材の理論と実践」 教材作製
12	保育実践⑤	模擬保育・教材発表
13	保育実践⑥	模擬保育・教材発表
14	保育実践⑦	模擬保育・教材発表
15	修得確認	保育実践の振り返り、自己評価
16	総合的な実践を目指して	模擬保育の準備、実践
17	総合的な実践を目指して	理論と実践との結びつき～誕生会の計画を立てる～ 主な園行事の紹介
18	総合的な実践を目指して	模擬保育の準備、グループ分け 模擬保育の計画（計画案提出）
19	模擬保育①	模擬保育実践の準備
20	模擬保育②	模擬保育実践の準備
21	模擬保育③	模擬保育実践の準備
22	模擬保育④	模擬保育実践の準備
23	模擬保育⑤	模擬保育実践発表・評価
24	模擬保育⑥	模擬保育実践発表・評価
25	模擬保育⑦	模擬保育実践発表・評価
26	模擬保育⑧	模擬保育のまとめ・振り返り、評価表提出
27	幼児教育行政の課題	近年の動向 幼稚園・保育所にかかる問題と課題
28	現代社会における幼児教育の問題点	特別な配慮を必要とする子どもたち 多文化共生保育
29	現代社会における幼児教育の問題点	子どもを取り巻く食育の実情 子どもの体力低下
30	目指す保育者像について	学習成果のまとめ・履修カルテで学習を振り返る。

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	実習就職対策Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	実習就職対策Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	4	60
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	保育現場で必要とされる人材の育成。 実習生としての心構えとあるべき姿を理解する。				
到達目標	実習生に必要な「話す、動く、書く、作る」技術を身に付け、実践することができる。				
評価基準	提出物：60％ 授業態度：40％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある ・成績評価が2以上				
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許				
関連科目	保育原理、保育内容総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式で実施する。				
担当教員	黒木 知恵美			実務経験	○
実務内容	福岡市内の保育園で10年勤務経験あり。大野城市子育て支援サポーター3年。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	【実習の基本】 実習の種類と目的	保育者になるということ (グループワーク・保育実習について・就職について)
2	【実習の準備】	実習日誌の書き方 指導案作成
3		実習日誌の書き方 指導案作成
4	【実習準備】	・おもつ交換の仕方 ・ミルクの作り方飲ませ方
5	【実習準備】	・実習振り返り 幼稚園教育要領
6	【実習準備】	・振り返り① 保育所保育指針
7	【実習準備】	・振り返り② 教育・保育要領
8	【実習準備】	・振り返り③ 施設実収の前に

9	【就職の基本】	・ 沐浴実習
10	【実習準備】	・ 実習振り返り ・ 社会人になるということ
11	【実習準備】	・ 実習準備、指導案
12	【実習の準備】	・ 実習準備、指導案
13	【実習の準備】	・ 実習振り返り まとめ
14	【保育者の仕事】	・ 園だよりを作ってみよう
15	【保育者の仕事】	・ 園だよりを作ってみよう
16	【保育者の仕事】	・ 園だよりを作ってみよう 発表
17	【保育者の仕事】	・ 教育課程と保育家庭を知ろう
18	【保育者の仕事】	・ 年間カリキュラムを作ってみよう
19	【保育者の仕事】	・ 年間カリキュラムを作ってみよう
20	【保育者の仕事】	・ 年間カリキュラムを作ってみよう
21	【保育者の仕事】	・ 年間カリキュラムを作ってみよう 発表
22	【保育者の仕事】	・ 連絡帳をかいてみよう
23	【研究発表準備】	・ 実習報告会研究発表準備 (目的・テーマの決定・グループワーク)
24		
25	【研究発表準備】	・ 実習報告会研究発表準備 (テーマごとに資料の作成①)
26	【研究発表準備】	・ 実習報告会研究発表準備 (テーマごとに資料の作成②)
27	【研究発表準備】	・ 実習報告会研究発表準備 (デモストレーションの練習)
28	【研究発表準備】	・ 実習報告会研究発表準備 (配布資料作成①)
29	【研究発表準備】	・ 実習報告会研究発表準備 (配布資料作成②)
30	【まとめ】	・ 国家資格とは

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	子どもの音楽Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	子どもの音楽Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	2	60
使用教材	・近代配布テキスト ・大すき♪みんなのうた			出版社	近畿大学九州短期大学 権歌書房

科目の基礎情報②

授業のねらい	ピアノ弾き歌いの技能を向上させながら、保育現場での音楽活動において必要とされる音楽表現技術を習得する。		
到達目標	ピアノ弾き歌い、コード伴奏付け、合奏伴奏、初見奏などの演奏技術を実践できる。 生活の歌、季節の歌、行事の歌、遊びの歌、人気の歌など、保育現場で必要な子どもの歌のレパートリーを広げ、実践力を身に着ける。		
評価基準	発表：40％　課題：40％　授業態度：20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許		
関連科目	音楽（理論）・子どもの音楽Ⅰ・音楽実践Ⅱ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて		
担当教員	中村　智子	実務経験	○
実務内容	幼稚園教諭として長年の勤務経験あり。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	園生活の歌 コード伴奏法の実践	主要五曲の復習、その他園生活の歌、ハ・ヘ・ト長調主要三和音のコード奏について学ぶ
2	園生活の歌 コード伴奏法の実践	主要五曲の復習、その他園生活の歌、ハ・ヘ・ト長調主要三和音のコード奏について学ぶ
3	季節の歌（春） コード伴奏法の実践	春の季節の歌、行事の歌の弾き歌いを習得する 分散和音によるコード奏について学ぶ
4	行事の歌（春） コード伴奏法の実践	春の季節の歌、行事の歌の弾き歌いを習得する 分散和音によるコード奏について学ぶ
5	季節の歌（梅雨） ピアノ奏法の基本	梅雨の季節の歌、行事の歌の弾き歌いを習得する 打鍵（タッチ）の方法について学ぶ
6	季節の歌（梅雨） ピアノ奏法の基本	梅雨の季節の歌、行事の歌の弾き歌いを習得する 曲想の表現の仕方、演奏記号について学ぶ
7	行事の歌（梅雨） ピアノ奏法の基本	梅雨の季節の歌、行事の歌の弾き歌いを習得する ペダルの効果と使い方について学ぶ
8	季節の歌（夏） ピアノの機能	夏の季節の歌、行事の歌の弾き歌いを習得する バイエル、ブルクミュラー、ソナチネなどの練習曲を習得する

9	季節の歌（夏） ピアノの機能	夏の季節の歌、行事の歌の弾き歌いを習得する バイエル、ブルクミュラー、ソナチネなどの練習曲を習得する
10	行事の歌（夏） 拍子とリズム	夏の季節の歌、行事の歌の弾き歌いを習得する いろいろな拍子、特殊なリズムについて学ぶ
11	定番の歌を習得する 拍子とリズム	定番の歌の弾き歌いを習得する いろいろな拍子、特殊なリズムについて学ぶ
12	定番の歌を習得する コード伴奏法の実践	定番の歌の弾き歌いを習得する マイナーコードと副三和音について学ぶ
13	定番の歌を習得する コード伴奏法の実践	定番の歌の弾き歌いを習得する マイナーコードと副三和音について学ぶ
14	弾き歌いまとめ、保育現場におけるピアノの役割と表現	習得した曲の弾き歌い演奏のまとめを行う
15	弾き歌いまとめ、保育現場におけるピアノの役割と表現	習得した曲の弾き歌い演奏のまとめを行う
16	季節の歌（秋） ピアノの技能	秋の季節の歌、行事の歌の弾き歌いを習得する 装飾音について学ぶ
17	行事の歌（秋） コード伴奏法の実践	秋の季節の歌、行事の歌の弾き歌いを習得する ドミナントモーションについて学ぶ
18	文科省唱歌 コード伴奏法の実践	文科省唱歌について学び、弾き歌いを習得する 借用和音を含むコード伴奏
19	文科省唱歌 コード伴奏法の実践	文科省唱歌について学び、弾き歌いを習得する オーギュメント、ディミニッシュの和音
20	三段譜の歌 コード伴奏法の実践	三段譜の歌の弾き歌いを習得する 経過和音を含むコード奏
21	三段譜の歌 ピアノの技能	三段譜の弾き歌いを習得する ハノン、バイエル、ブルクミュラー、ソナチネなどの練習曲を習得する
22	季節の歌（クリスマス） ピアノの技能	クリスマスの歌の弾き歌いを習得する ハノン、バイエル、ブルクミュラー、ソナチネなどの練習曲を習得する
23	季節の歌（クリスマス） ピアノの技能	クリスマスの歌の弾き歌いを習得する ハノン、バイエル、ブルクミュラー、ソナチネなどの練習曲を習得する
24	季節の歌（冬） 劇遊びにおけるピアノ奏	冬の季節の歌、行事の歌の弾き歌いを習得する 音楽会、劇遊び等における伴奏、BGM演奏を習得する
25	行事の歌（冬） 劇遊びにおけるピアノ奏	冬の季節の歌、行事の歌の弾き歌いを習得する 音楽会、劇遊び等における伴奏、BGM演奏を習得する
26	楽しい歌・アニメの歌 子どもの合奏と伴奏	楽しい歌、アニメの歌の弾き歌いを習得する
27	楽しい歌・アニメの歌 子どもの合奏と伴奏	楽しい歌、アニメの歌の弾き歌いを習得する
28	行事の歌（卒園式）	卒園の歌の弾き歌いを習得する
29	行事の歌（卒園式）	卒園の歌の弾き歌いを習得する
30	弾き歌いまとめ、保育現場におけるピアノの役割と表現	習得した曲2曲による弾き歌いの演奏発表を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	子どもの医療Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	子どもの医療Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	2	30
使用教材	子ども外来ケア			出版社	へるす出版

科目の基礎情報②

授業のねらい	- 子どもによく見られる症状を理解し、小児科受診の目安を知る。 - 予防接種について理解する。				
到達目標	- 保育現場での子どもの体調管理とその対応を理解できる。 - 予防接種の効果と接種時期を理解できる。				
評価基準	修得確認50%、ワークシート20%、授業態度30%				
認定条件	- 出席が総時間数の3分の2以上ある者 - 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	子どもの医療Ⅰ/小児医療/子どもの事故/入院中の子どものケア/子どもの保健				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	成本 久美子			実務経験	○
実務内容	済生会福岡総合病院他にて長年看護師勤務経験あり。また訪問看護の経験あり。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	はじめに	授業の流れと到達目標、評価基準について。子どもによく見られる症状の種類について理解する。
2	発熱	発熱についてとその対応を学ぶ。
3	咳	咳についてとその対応を学ぶ。
4	鼻汁	鼻汁についてとその対応を学ぶ。
5	頭痛	頭痛についてとその対応を学ぶ。
6	腹痛	腹痛についてとその対応を学ぶ。
7	嘔吐	嘔吐についてとその対応を学ぶ。
8	下痢	下痢についてとその対応を学ぶ。
9	便秘	便秘についてとその対応を学ぶ。

10	皮疹①アトピー性皮膚炎	アトピー性皮膚炎についてとその対応や外用薬の使用方法などを学ぶ。
11	皮疹②疾患に伴う皮疹	疾患に伴う皮疹の特徴やその違いを学ぶ。
12	夜尿	夜尿についてとその対応を学ぶ。
13	肥満	肥満についてとその対応を学ぶ。
14	血尿、血便	血尿、血便についてとその対応を学ぶ。
15	前期のまとめと修得確認	前期の修得確認とまとめを行う。
16	予防接種の必要性和種類について	免疫のしくみと予防接種の必要性和種類について学ぶ。
17	4種混合ワクチン（DPT-IPV）	4種混合ワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて学ぶ。
18	肺炎球菌ワクチン	肺炎球菌ワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて学ぶ。
19	ヒブ（Hib;インフルエンザ菌b型）ワクチン	ヒブワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて学ぶ。
20	BCGワクチン	BCGワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて学ぶ。
21	日本脳炎ワクチン	日本脳炎ワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて学ぶ。
22	B型肝炎ワクチン	B型肝炎ワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて学ぶ。
23	ロタウイルスワクチン	ロタウイルスワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて学ぶ。
24	MR（麻しん風しん混合）ワクチン	MRワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて学ぶ。
25	水痘ワクチン、おたふくかぜワクチン	水痘ワクチン、おたふくかぜワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて学ぶ。
26	インフルエンザワクチン(小児)	インフルエンザワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて学ぶ。
27	A型肝炎ワクチン、狂犬病ワクチン	A型肝炎ワクチン、狂犬病ワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて学ぶ。
28	髄膜炎菌ワクチン	髄膜炎菌ワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて学ぶ。
29	ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチン	ヒトパピローマウイルスワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて学ぶ。
30	後期まとめと修得確認	後期の内容の修得確認とまとめを行う。

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	運動あそび		
必修選択	選択	(学則表記)	運動あそび		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	2	60
使用教材	ころとからだがスクスク育つ！ 0歳～5歳児の発達に合った楽しい運動あそび			出版社	ナツメ社

科目の基礎情報②

授業のねらい	自己の運動能力を向上させ、保育に活かせる基本的な補助法と援助法を身に付ける。				
到達目標	幼児体育の運動遊びの見本ができる。 マット・鉄棒・縄跳び・跳び箱運動における補助法が確実にできる。				
評価基準	小テスト：40％　テスト：40％　授業態度：20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許				
関連科目	健康科学				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施				
担当教員	大西　真果			実務経験	○
実務内容	スポーツ施設における指導、保育園での子育て支援指導、健康教室でのシニア世代へのリズム体操を指導。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	基本的運動	オリエンテーション。基本的運動を実践、体験する。
2	マット①	色々なマット種目の自己の技術を確認する。 前転、後転、側転、倒立前転、その他種目の運動技能を学び、練習をする。 子どもに対する安全な補助を理解し身に付ける。
3	マット②	
4	マット③	
5	マット④	
6	マット⑤	
7	マット⑥	ここまで行ってきた自己の運動と補助の確認を行う。
8	前期中間確認テスト	学習内容の確認をするためテストを行う。
9	鉄棒①	色々な鉄棒種目の自己の技術の確認する。

10	鉄棒②	足抜き尻抜き回り、前まわり下り、逆上がり、その他種目の運動技能を学び、練習をする。 子どもに対する安全な補助を理解し身に付ける。
11	鉄棒③	
12	鉄棒④	
13	鉄棒⑤	
14	前期単元確認テスト	学習内容の確認をするためテストを行う。
15	まとめ	今まで行った学習内容の補助法を確認する。前期の総復習を行います。
16	縄跳び①	色々な縄跳び種目の自己の技術を確認する。
17	縄跳び②	前とび、後ろとび、交差とび、綾とび、2重跳び、その他種目の運動技能を学び、練習をする。 長縄あそびの実践、縄の回し方を覚える。
18	縄跳び③	
19	縄跳び④	
20	縄跳び⑤	ここまで行ってきた自己の運動の確認を行う。
21	後期中間確認テスト	学習内容の確認をするためテストを行う。
22	跳び箱①	色々な跳び箱種目の自己の技術を確認する。
23	跳び箱②	開脚とび、台上前転、その他種目の運動技能を学び、練習をする。 子どもに対する安全な補助を理解し身に付ける。
24	跳び箱③	
25	跳び箱④	
26	跳び箱⑤	
27	跳び箱⑥	ここまで行ってきた自己の運動と補助の確認を行う。
28	後期単元確認テスト	学習内容の確認をするためテストを行う。
29	まとめ	今まで行った学習内容の補助法を確認する。
30	調整・補い	1年間で振り返り、調整・補いを受ける。

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	製作あそび		
必修選択	選択	(学則表記)	製作あそび		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	2	60
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	・ものづくりの楽しさを体験しながら学び研究し、作品の制作を身につける ・実際に作品制作をしていく中で、子どもの造形表現活動の援助に必要な様々な要素を習得する				
到達目標	・子どもの発達段階に応じて絵本を選び、読み聞かせができる。 ・子どもの発達を考慮しながら、手作り絵本を作ることが出来る。				
評価基準	課題：50% 提出物：30% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許				
関連科目	病児のあそび研究				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	宮地 真奈美			実務経験	○
実務内容	福岡市立那珂保育所にて長年保育士として勤務。また幼稚園における預かり保育職員の経験もあり。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業内容・評価方法の説明
2	絵本とは	絵本の種類についての研究、調べ学習
3	絵本とは	絵本の種類についての研究、発表
4	子どもの発達と絵本の研究	3歳未満児 グループワーク
5	子どもの発達と絵本の研究	3歳未満児 発表
6	子どもの発達と絵本の研究	3歳以上児 グループワーク
7	子どもの発達と絵本の研究	3歳以上児 発表
8	子どもの発達と絵本の研究	まとめ
9	保育所実習にむけて①	教材研究

10	保育所実習にむけて②	教材研究
11	実習振り返り	3歳未満児 グループワーク
12	実習振り返り	3歳未満児 発表
13	実習振り返り	3歳以上児 グループワーク
14	実習振り返り	3歳以上児 発表
15	実習振り返り	まとめ
16	絵本制作①	アイディアスケッチ
17	絵本制作②	ストーリー展開
18	絵本制作③	表紙画作成
19	絵本制作④	各自制作
20	絵本制作⑤	各自制作
21	絵本制作⑥	各自制作
22	絵本制作⑦	各自制作
23	絵本制作⑧	各自制作
24	絵本制作⑨	各自制作
25	絵本制作⑩	各自制作
26	絵本制作⑪	各自制作
27	絵本制作⑫	各自制作
28	絵本制作⑬	各自制作
29	絵本発表①	発表
30	絵本発表②	発表

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	業界理解Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	業界理解Ⅲ(HR/保育発表会)		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	2	30
使用教材	なし			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	保育現場で必要とされる人材になるため、子どもへの関わりを理解する。 社会人に向けての準備・心構えを行う。				
到達目標	保育業界について理解し、保育現場で活躍できる人材になる。 ボランティア活動などで学びを実践できるようになる。				
評価基準	提出物：60％ 授業態度：40％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許				
関連科目	業界理解Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式で実施する。				
担当教員	井上 裕太			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	2年生時の振り返り	2年生時の振り返りを行う。 進級生オリエンテーションの復習も行う。
2	年間行事確認・次月目標決め	年間行事を確認する。 次月の目標決めを行う。(個人・全体)
3	前月の振り返り	前月の振り返りを行い、改めて今月の過ごし方を考える。
4	教育実習Ⅱに向けて	5月に行う教育実習Ⅱについて説明を行う。
5	今月の振り返り・次月目標決め	前月の振り返りを行い、改めて今月の過ごし方を考える。
6	三幸フェスティバルについて	三幸フェスティバルについて説明を行う。
7	保育実習Ⅰ(施設)に向けて	保育実習Ⅰ(施設)に向けての準備・確認を行う。
8	保育実習Ⅰ(施設)の振り返り・報告	保育実習Ⅰ(施設)の振り返りを行う。

9	今月の振り返り・次月目標決め	前月の振り返りを行い、改めて今月の過ごし方を考える。
10	三幸フェスティバルについて	三幸フェスティバルについて説明・練習。
11	夏休みの過ごし方	夏休みの過ごし方について考える。
12	夏休みの過ごし方振り返り 三幸フェスティバルについて	三幸フェスティバルに向けての練習。
13	三幸フェスティバル振り返り 保育実習Ⅱ・Ⅲに向けて	三幸フェスティバルを終えての振り返りを実施する。 保育実習Ⅱ・Ⅲに向けての準備を行う
14	前期の振り返り・後期目標決め	前期の振り返りを行い、改めて後期の過ごし方を考える。
15	今月の振り返り・次月目標決め	前月の振り返りを行い、改めて今月の過ごし方を考える。
16	保育実習Ⅱ・Ⅲの振り返り	保育実習Ⅱ・Ⅲの振り返りを行う。
17	保育発表会練習	保育発表会にむけての説明・練習。
18	保育発表会練習	保育発表会にむけての練習。
19	卒業式について	卒業式についての説明を行う。
20	保育発表会練習	保育発表会にむけての練習。
21	前月の振り返り・今月目標設定	前月の振り返りを行い、改めて今月の過ごし方を考える。
22	保育発表会練習	保育発表会にむけての練習。
23	保育発表会・冬休みの過ごし方	保育発表会にむけての練習。 冬休みの過ごし方について考える。
24	保育発表会振り返り	保育発表会を終えての振り返りを行う。
25	前月の振り返り・今月目標設定	前月の振り返りを行い、改めて今月の過ごし方を考える。
26	実習報告会について	実習報告会についての説明を行う。
27	就職に向けて	就職・社会人に向けての準備を行う。
28	実習報告会に向けて	実習報告会についての準備を行う。
29	1年間の振り返り	1年間のこれまでの振り返りを行う。
30	社会人での目標設定 卒業式準備	社会人に向けての目標設定を行う。 卒業式に向けての準備を行う。

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	医療事務Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	医療事務Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	4	60
使用教材	①診療報酬点数早見表②早見表③医事テキスト式 ④調剤テキスト式⑤介護テキスト式 ⑥窓口事務必須ハンドブック		出版社	①⑥医学通信社②③ユアサポート ④⑤日本医療事務協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	・保険薬局における調剤事務員の役割を理解する ・介護保険のしくみ、介護サービスの内容を理解する ・公費等の知識を習得する		
到達目標	・調剤事務員の役割、介護保険のしくみや介護サービスの内容を述べる事が出来る ・調剤検定・介護検定に合格することが出来る　公費等の知識を述べる事が出来る		
評価基準	評価テスト50％　提出物30％　授業態度20％		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者　成績評価が2以上の者		
関連資格	・介護報酬請求事務技能検定　・調剤薬局事務検定		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	杉野　志帆美	実務経験	○
実務内容	診療情報管理士の資格を取得している。国立の医療機関にてD P C業務を３年・秘書業務２年を務め、点数算定業務やデータ管理などを中心に担当していた。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	復習	・外来レセプト作成（カルテ問題集、医療事務検定2級の過去問題）
2	介護報酬	・介護保険制度のしくみ
3	介護保険	・居宅レセプト作成
4	介護報酬	・居宅レセプト作成
5	介護報酬	・居宅レセプト作成
6	介護報酬	・居宅レセプト作成
7	介護報酬	・居宅レセプト作成

8	介護報酬	・施設レセプト作成
9	介護報酬	・施設レセプト作成
10	介護報酬	・施設レセプト作成
11	介護報酬	・施設レセプト作成
12	公費負担医療制度	・生保、原爆、特定疾患等
13	公費負担医療制度	・子ども医療証、障害者、ひとり親家庭医療証
14	労災・自賠責・後期高齢者医療制度	・労災、自賠責、後期高齢者医療制度
15	公費負担医療制度、労災、自賠責等	・小テスト（生保、原爆、特定疾患、自賠責、労災等）
16	調剤報酬	・保険調剤のしくみ、保険調剤の実務、処方箋の見方
17	調剤報酬	・内服薬1剤の考え方、薬剤料の計算（P191 練習問題使用）
18	調剤報酬	・点数の解釈、調剤録・レセプトの作成
19	調剤報酬	・点数の解釈、調剤録・レセプトの作成
20	調剤報酬	・点数の解釈、調剤録・レセプトの作成
21	調剤報酬	・点数の解釈、調剤録・レセプトの作成
22	調剤報酬	・点数の解釈、調剤録・レセプトの作成
23	調剤報酬	・点数の解釈、調剤録・レセプトの作成
24	調剤報酬	・点数の解釈、調剤録・レセプトの作成
25	調剤報酬	・点数の解釈、調剤録・レセプトの作成
26	調剤報酬	・点数の解釈、調剤録・レセプトの作成
27	調剤報酬	・点数の解釈、調剤録・レセプトの作成
28	調剤報酬	・3月調剤検定対策
29	調剤報酬	・3月調剤検定対策
30	調剤報酬	・3月調剤検定対策

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	医事コン・電子カルテ		
必修選択	選択	(学則表記)	医事コンピューター		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	2	60
使用教材	コンピュータ入力練習用「カルテ例題集」 診療報酬点数表、医療事務テキストⅡ、早見表			出版社	ケアアンドコミュニケーション 医学通信社

科目の基礎情報②

授業のねらい	医療機関における医療事務コンピュータの役割と活用性を理解する。 医事会計システム・電子カルテシステムの操作方法を習得する。				
到達目標	医療事務コンピュータの役割と必要性を説明できるようになる。 コンピュータを用いて正しく請求を算定できるようになる。 電子カルテの基礎的な入力ができるようになる。				
評価基準	テスト：70％ 出欠席及び授業態度：30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	医事コンピュータ技能検定試験 3級				
関連科目	医科医療事務Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	杉野 志帆美			実務経験	○
実務内容	診療情報管理士の資格を取得している。国立の医療機関にてDPC業務を3年・秘書業務2年を務め、点数算定業務やデータ管理などを中心に担当していた。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	・医事C Pの授業目的 ・概要説明 ・C P基本操作	・医療機関における医事C Pの役割と活用性 ・システムの起動・終了操作、U S Bの取り扱い
2	外来患者入力①	患者登録・病名までの入力
3	外来患者入力②	診察料・医学管理までの入力
4	外来患者入力③	投薬・do・注射までの入力
5	外来患者入力④	処置・麻酔・手術までの入力
6	外来患者入力⑤	検査・病理・画像診断までの入力①
7	外来患者入力⑥	検査・病理・画像診断までの入力②
8	外来患者入力⑦	検査・病理・画像診断までの入力③

9	外来患者入力⑧	検査・病理・画像診断までの入力④
10	テスト	テスト実施（問題は各校にて作成）
11	外来患者入力⑨	前期の振り返り
12	伝票形式入力①	外来の伝票形式の入力演習①
13	伝票形式入力②	外来の伝票形式の入力演習②
14	入院患者入力①	外来と入院の相違の入力①
15	入院患者入力②	外来と入院の相違の入力②
16	入院患者入力③	入院患者入力演習① ※高齢患者の入力含む
17	入院患者入力④	入院患者入力演習② ※高齢患者の入力含む
18	入院患者入力⑤	入院患者入力演習③ ※高齢患者の入力含む
19	入院患者入力⑥	入院患者入力演習④ ※高齢患者の入力含む
20	入院患者入力⑦	入院患者入力演習⑤ ※高齢患者の入力含む
21	入院患者入力⑧	入院患者入力演習⑥ ※高齢患者の入力含む
22	テスト	テスト実施（問題は各校にて作成）
23	伝票形式入力③	入院の伝票形式の入力演習
24	伝票形式入力④	入院の伝票形式の入力演習
25	外来・入院患者演習	外来カルテの難易度の高い問題①
26	日報・月報・総括・マスター入力	入院カルテの難易度の高い問題①
27	外来・入院の振り返り	外来カルテの難易度の高い問題②
28	電子カルテ①	・電子カルテの基本操作 ・オーダーリングシステムの役割 ・SOAPの意味 ・問診表の入力
29	電子カルテ②	カルテ入力（症状・所見・病名・投薬・注射・処置・検査・画像診断等）
30	電子カルテの振り返り	入院カルテの難易度の高い問題②

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	病児保育		
必修選択	選択	(学則表記)	病児保育		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	2	30
使用教材	医療的配慮の必要な子どもの保育			出版社	中央法規

科目の基礎情報②

授業のねらい	医療的ケアを受けている子どもや慢性疾患のある子どもが、地域や保育園、幼稚園など様々な環境の中で生活できるように、保育者が必要な知識を身につけ、適切な対応や配慮が行えるようにする。				
到達目標	医療的な配慮が必要な子どもを受け入れる保育者が自信をもって保育ができることを目標とする。				
評価基準	小テスト：30% 修得確認：50% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	子どもの保健・入院中の子どものケア				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	成本 久美子			実務経験	○
実務内容	済生会福岡総合病院他にて長年看護師勤務経験あり。また訪問看護の経験あり。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・復習	授業のねらいや授業進行の確認、2年次の医学的な知識を振り返る。
2	第1部 医療的な配慮の必要な子どもを受け入れるための基礎知識	情報の把握、保護者の心理と関わりについて習得する。
3	第1部 医療的な配慮の必要な子どもを受け入れるための基礎知識	医療的ケアについて、薬の知識や投薬について習得する。
4	第2部 それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	アレルギー（アトピー、食物アレルギー）について習得する。
5	第2部 それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	アレルギー（花粉症、喘息）について習得する。
6	第2部 それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	神経系の病気（てんかん）について習得する。
7	第2部 それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	神経系の病気（脳性まひ）について習得する。
8	第2部 それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	聴覚障害（難聴）について習得する。
9	第2部 それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	視覚障害（盲）について習得する。

10	第2部 それぞれの病気の知識と保育の ときの配慮	視覚障害（弱視、白内障）について習得する。
11	第2部 それぞれの病気の知識と保育の ときの配慮	視覚障害（緑内障、斜視）について習得する。
12	第2部 それぞれの病気の知識と保育の ときの配慮	腎臓の病気（糸球体腎炎、ネフローゼ症候群）について習得する。
13	第2部 それぞれの病気の知識と保育の ときの配慮	ホルモンに関する病気（低身長症）について習得する。
14	第2部 それぞれの病気の知識と保育の ときの配慮	ホルモンに関する病気（思春期早発症）について習得する。
15	第1部～第2部	総まとめの修得確認を行う。
16	第2部 それぞれの病気の知識と保育の ときの配慮	ホルモンに関する病気（ターナー症候群）について習得する。
17	第2部 それぞれの病気の知識と保育の ときの配慮	ホルモンに関する病気（糖尿病）について習得する。
18	第2部 それぞれの病気の知識と保育の ときの配慮	ホルモンに関する病気（糖尿病）について習得する。
19	第2部 それぞれの病気の知識と保育の ときの配慮	血液の病気（特発性血小板減少性紫斑病）について習得する。
20	第2部 それぞれの病気の知識と保育の ときの配慮	血液の病気（血友病）について習得する。
21	第2部 それぞれの病気の知識と保育の ときの配慮	血液の病気（重度の貧血）について習得する。
22	第2部 それぞれの病気の知識と保育の ときの配慮	がん（白血病）について習得する。
23	第2部 それぞれの病気の知識と保育の ときの配慮	がん（脳腫瘍）について習得する。
24	第2部 それぞれの病気の知識と保育の ときの配慮	がん（神経芽腫）について習得する。
25	第2部 それぞれの病気の知識と保育の ときの配慮	その他の病気（口唇裂、口蓋裂）について習得する。
26	第2部 それぞれの病気の知識と保育の ときの配慮	その他の病気（水頭症、二分脊椎症）について習得する。
27	第2部 それぞれの病気の知識と保育の ときの配慮	その他の病気（レックリングハウゼン病、アルビノ、ウィリアムズ症候群）について習得する。
28	第2部 それぞれの病気の知識と保育の ときの配慮	その他の病気（低出生体重児）について習得する。
29	第2部 それぞれの病気の知識と保育の ときの配慮	その他の病気（ADHD）について習得する。
30	第2部	総まとめの修得確認を行う。

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	病児のあそび研究		
必修選択	選択	(学則表記)	病児のあそび研究		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	4	60
使用教材	なし			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	病気や怪我で活動が制限される子どもたちに楽しい時間を提供する方法を考える		
到達目標	病気や怪我の子どもたちは状況が多様であることを理解できる 病気や怪我で活動が制限されるからこそ楽しめるものを想像し述べられる 安全に配慮したグッズを丁寧に作ることができる		
評価基準	提出物（遊びリスト、デザイン画、振り返り）・製作物60％ 参加発表態度40％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許		
関連科目	病児保育・製作あそび		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	中村 智子	実務経験	○
実務内容	幼稚園教諭として長年の勤務経験あり。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 車椅子の子どもの遊び 【上肢に不自由がない場合】	教科のねらい、評価基準、求められる授業姿勢を理解する。 車椅子の子どもの状態とパターンを考えて発表する（怪我、脳性マヒ等の障がいなど） 【幼児期】車椅子に座り、上肢を使ってできる道具のいない遊びを考える。 リストを実践しながら配慮点を探る。
2	車椅子の子どもの遊び 【上肢に不自由がない場合】 【幼児期】	【学童期】車椅子に座り、上肢を使ってできる道具のいない遊びを考える。 幼児期との違いや配慮、遊びの展開を考えて、ひとり遊びできるものと複数で遊べるものに分類し、まとめる。グループで実際に遊びを体験し考察する。 ★次回への展開：身近な道具を使った遊びを個人で考える。
3	【学童期】 ・道具を使わない遊び ・道具を使った遊び	【幼児期】【学童期】上肢を使ってできる道具を使った遊びを考える。 幼児期と学童期それぞれの配慮や展開を考え、ひとり遊びや複数で遊べるものに分けてまとめる。（道具を使うので、衛生面の配慮も必要）実際にグループで遊びを体験し考察する。
4		★次回への展開：入院中のベッドの上でできる遊びを考えておく。

5		入院中の子どもたちの状態を考察する。（慢性疾患、怪我、喘息） 【幼児期】【学童期】ベッド上、座位の状態のできる遊びを考え、幼児期と学童期それぞれの配慮や展開を考え、道具を使わない遊びと道具を使った遊びについてまとめる。
6	ベッドの上での遊び 【座位ができる場合】 【幼児期】 【学童期】 【乳児期】	ベッド上の配慮を考え、遊びと配慮点についてグループワークする。 【乳児期】同様に、幼児期との違いや乳児ならではの配慮を考え、グループワークする。 ★次回への展開：赤ちゃんが握りやすいフェルトのぬいぐるみの案を考えておく。
7		
8	《製作》 フェルトのひも通し	フェルトで、赤ちゃん用ひも通しを作成する。 通しやすく安全な形状を考え、デザインを書き、型紙を作る。 ひも（ロープ）の長さは安全を考慮し、サイズを決める。（長すぎないように） フェルトで製作する。 部品が取れないように丁寧に縫い上げる。 ★次回への展開：治療を説明する絵カードを作るので工作セットを持参する。
9		
10		
11		
12	治療を助ける遊び 【幼児期】	保育者目線で、その治療が必要なことを遊びを通して実感できるカードを作る。 注射、吸入、点滴、服薬、歯磨きから1つ選び、その説明と効果を調べてまとめる。 どのような説明が必要か考え、設計図を書く。
13	《製作》 説明絵カード	子どもにわかりやすい絵と色あい、言葉であるか考える。 説明の文字は少なく、また恐怖心を与えない表現に留意する。 子どもが手に持っても問題の無い安全な作りにする。
14		画用紙で丁寧に製作し、完成後に発表しあう。
15	前期のまとめ	これまでの学びを振り返る。 理解したことや実習で出会った特別な支援が必要な子どもの遊びについてグループワークする。
16		【乳児期】【幼児期】ベットの上で、寝たままのできる遊びを考え、まとめる。 乳児期と幼児期それぞれの配慮や展開を考え、遊びをまとめる。 寝たままの状態でする道具やできる動きについて考察する。 ベッド上であることを考え、遊びと配慮点についてグループワークする。 視覚で楽しむ工夫を考える。 ★次回への展開：病室で季節感を出す装飾を考案する。
17	ベッドの上での遊び 【寝た状態でできること】 【乳児期】 【幼児期】	
18	《グループワーク製作》 病室の装飾 （産学連携）	
19		視覚で楽しむ病室の装飾を作成する。 複数の子どもが入院する病室で、誰もが楽しめる装飾をグループで考える。 保育者目線で、季節を決めて季節感を味わえるか、見て遊べる装飾をデザインする。また、適した大きさや色合いを選ぶ。
20		病室であることの留意点をあげ、治療の邪魔にならないもの、不安を煽らないものをグループで考え、デザイン画を描き、作成する。
21		
22		
23	病児の遊び 【どこでも】 【乳児期】 【幼児期】	診察室でも病室でも使えるグッズ、手袋シアターを作成する。 治療中の気分転換になるように、子どもたちが知っているお話や歌を題材に選び、色や大きさに配慮しながらデザイン画を描く。
24	《製作》 手袋シアター	子どもが使うことを想定し、丈夫に安全なものを作る。 完成後、声や表情に気を付けてみんなの前で演じる練習を行い、演じる。
25		
26		

27	病院内プレイルーム	プレイルームに来ることができる子どもたちの状況を考える。 病院着で点滴をしながらできる遊びを個人ワークしたあと、グループに分かれて個人で考えた遊びを出し合い、15分程度の遊びの企画を考える。 必要な配慮とできる遊びを企画書にまとめ、準備する。 準備と練習を重ね、みんなの前で発表しあう。
28	【遊びの企画】 【幼児期】 《企画》	
29	プレイルームでの遊び	
30	後期のまとめ	これまでの学びを振り返る。

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	小児医療		
必修選択	選択	(学則表記)	小児医療		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	2	30
使用教材	小児科でよくみる症状・疾患ハンドブック			出版社	照林社

科目の基礎情報②

授業のねらい	小児医療に携わる保育士として、必要な基礎知識を身につける				
到達目標	①小児科医療現場での看護を学ぶ ②子どもの病気の診断と治療について学ぶ ③子どもの症状に対し、保育士として適切な対応ができる				
評価基準	テスト・課題（70%）授業態度・提出物（30%）				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	病児保育/子どもの医療ⅠⅡ/子どもの事故/こどもの保健				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	成本 久美子			実務経験	○
実務内容	済生会福岡総合病院他にて長年看護師勤務経験あり。また訪問看護の経験あり。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の進め方 到達目標
2	子どもの発育・発達と健診	発達と発育 健診 子育て支援
3	予防接種	種類 スケジュール 接種に関する事故
4	発熱①	外来看護のポイント
5	発熱②	エンテロウイルス感染症 アデノウイルス感染症 ヘルペスウイルス感染症 突発性発疹 EBウイルス感染症 インフルエンザ 溶連菌感染症
6	発熱③	急性中耳炎 尿路感染症 川崎病
7	咳、喘鳴、呼吸困難	かぜ症候群 鼻副鼻腔炎 クループ症候群 RSウイルス感染症 マイコプラズマ感染症 細菌性肺炎 百日咳 気道異物
8	嘔吐、下痢	胃腸炎（細菌性、ウイルス性） アセトン周期性嘔吐症 肥厚性幽門狭窄症
9	腹痛	便秘 心因性腹痛 腸重積 急性虫垂炎 鼠径ヘルニア 急性膵炎

10	第1回 復習	これまでの振り返り
11	皮疹	湿疹 オムツ皮膚炎 乳児寄生菌性紅斑 蕁麻疹 伝染性膿痂疹 血管性紫斑病
12	けいれん①	てんかん
13	けいれん②	熱性けいれん 髄膜炎 脳炎・脳症 頭蓋内出血
14	不定愁訴	起立性調節障害 片頭痛 成長痛
15	第2回 復習	これまでの振り返り
16	うつりやすい疾患	麻疹 風疹 おたふくかぜ 水痘 伝染性紅斑
17	成長、発育、代謝に関する疾患	肥満症 成長ホルモン分泌不全低身長症 甲状腺機能亢進症 甲状腺機能低下症 糖尿病 夜尿症
18	泌尿器、性器の疾患	急性糸球体腎炎 ネフローゼ症候群 溶血性尿毒症症候群 外性器疾患
19	血液の疾患、悪性腫瘍①	鉄欠乏性貧血 特発性血小板減少性紫斑病 血友病 ビタミンK欠乏症
20	血液の疾患、悪性腫瘍②	白血病 脳腫瘍
21	第3回 復習	これまでの振り返り
22	アレルギーの疾患①	食物アレルギー
23	アレルギーの疾患②	アトピー性皮膚炎 アレルギー性鼻炎 花粉症
24	発達、行動の問題	注意欠如・多動症 自閉スペクトラム障害 不登校 チック 虐待
25	小児の心肺蘇生	心臓マッサージ 気道確保 人工呼吸 AED
26	小児の経口補水療法	脱水の評価 補水の方法
27	小児の在宅医療	医療的ケア
28	病児保育	病児保育とは何か
29	第4回 復習	これまでの振り返り
30	まとめ	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	教育実習		
必修選択	選択	(学則表記)	教育実習		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	2	80
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	幼稚園での体験を通して、保育のやりがいと責任を学び、保育の知識と技術を深める。				
到達目標	指導案を作成し、必要な準備をした上で、子どもたちの前で実践できる。 時系列に沿って、子どもたちへの留意点を踏まえた日誌を作成できる。				
評価基準	保育現場評価、実習日誌、実習準備、参加態度等を総合評価 近畿大学九州短期大学の実習評価基準に準ずる				
認定条件	・ 10 日以上、実保育時間（休憩除く） 80 時間以上 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	幼稚園教諭免許				
関連科目	保育実習、教育実習事前事後指導				
備考	原則、この科目は対面形式にて実施する				
担当教員	井上 裕太			実務経験	
実務内容					

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	保育実習Ⅰ（施設）		
必修選択	選択	（学則表記）	保育実習Ⅰ（施設）		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	2	80
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場での体験を通して、児童福祉施設を理解し、生活支援の知識と技術を深める。				
到達目標	福祉施設に必要な支援の補助ができる。 時系列に沿って、子どもたちへの留意点を踏まえた日誌を作成できる。				
評価基準	保育現場評価、実習日誌、実習準備、参加態度等を総合評価 近畿大学九州短期大学の実習評価基準に準ずる				
認定条件	・ 90時間（休憩含む）以上または、実保育時間（休憩除く）80時間以上 ・ 成績評価が2以上の者				
関連資格	保育士資格				
関連科目	教育実習				
備考	原則、この科目は対面形式にて実施する				
担当教員	井上 裕太			実務経験	
実務内容					

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	保育実習Ⅱ・Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	保育実習Ⅱ・Ⅲ(選択)		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	2	80
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	保育現場での体験を通して、保育のやりがいと責任を学び、保育の知識と技術を深める。				
到達目標	児童福祉施設で必要な支援の補助ができる。 時系列に沿って、子どもたちへの留意点を踏まえた日誌を作成できる。				
評価基準	保育現場評価、実習日誌、実習準備、参加態度等を総合評価 近畿大学九州短期大学の実習評価基準に準ずる				
認定条件	・ 9 0 時間（休憩含む）以上または、実保育時間（休憩除く）8 0 時間以上 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	保育士資格				
関連科目	教育実習、保育実習事事前事後指導				
備考	原則、この科目は対面形式にて実施する				
担当教員	井上 裕太			実務経験	
実務内容					